

先行する神の恵みを常に覚え感謝したい＝主イエス・キリストの恵み・父なる神の愛・御聖霊の親しい交わり。この恵みがなければ私達は、とくに滅んでいるはず。感謝します。その恵みを味わい続け、その恵みへの感謝の応答としての信仰生活！

I 「悪い（原語：悪い、役に立たない、腐った、邪悪な、背徳、不道德の）時代だからです」。

1. 神から離れ、時、機会を神の為ではなく、自分達の罪の欲望の為に用いている時代。
2. 神から離れ、霊的に眠り、主が再び来られ、正しくさばかれることも知らず、又は忘れ、無視し、遊興（悪い遊び）、酩酊（酒にひどく酔う）、淫乱（肉欲）、好色（放縦）、争い、ねたみの生活（ローマ13：13）に浸かっている時代。※もし私が主に出会っていなければ？

II 「機会を十分に生かして用いなさい」

1. 前節とのつながり→賢くない人（自分の思い、判断で歩む人、祈りもせず急ぎ足の人）のようにではなく、賢い人（神から知恵をいただいて歩む人）のように歩んでいるか、よくよく注意して歩む時→機会を十分に生かして用いることが出来る。
2. 「機会」とは。原語：カイロスの意＝ちょうど良い時、好機、機会、時、時期。人間的なあせり、性急な時ではなく、また、霊的に眠ったままで好機を失うのでもなく、神が支配して下さるちょうど良い時、好機、機会、チャンスを見分け、主に喜ばれること（エペソ5：10）を成すことができますように！
3. 機会を「十分に生かして用いなさい」原語：買い戻しなさい。「キリストは、私たちのためにのろわれたものとなって、私たちを律法ののろいから贖い出してくださった」（ガラテヤ3：13）。キリストの身代わりの死、十字架の尊い血という代価を支払って、私達を私達の罪故ののろい、刑罰、滅びから「買い戻して」下さり、主のものとして下さった恵み！

私達は、素晴らしい救いの光である主に出会う以前は、罪の暗闇の中にあり、神の下さる機会、時を、悪、自分の罪の欲望の為に用いた。また、救われた後も、霊的に眠った状態で、与えられた機会を、主の喜ばれる事の為に生かして用いていなかった事に気づかされる。

残りの生涯は、永遠の滅びから買い戻され神のものとしていただいた者として、与えられた機会を悪から買い戻し、主の為に生かして用いることが出来ますように。神から与えられた機会、時間、賜物を生かし、神の為に用いていただく。各奉仕が結び合されて、主の教会を共に建て上げる。

「地上に残された時を、もはや人間の欲望のためではなく、神のみこころのために過ごすようになるのです」

I ペテロ4：2

- ① 神が与えて下さる朝の時間、機会（5分、15分から、出来る分からは始める）を確保し
（買い戻し、ある事を止め、神との時間、機会を確保する。人は、一番価値を置いてるものになら時間を作る。神のほうも私達との交わりを楽しみに確保されている）、神との深い幸いな交わりの機会として十分に用いる。
「イエスは、朝早くまだ暗いうちに起きて、寂しい所に出て行き、そこで祈っておられた」マルコ1：35。
主は、人々に愛を十分に示されたが、朝の大切な時間、または別の時間を確保し、父なる神との幸いな大切な交わりをされた。私達も自分に合うペースで、出来ますように！
- ② 神が与えて下さる六日を神から与えられた努めに用い、7日目を聖なる日として聖別し、神を覚え、神の創造と救いを感謝し神を礼拝する日、時、機会として確保し生かして用い心から神を礼拝する。
「あなたは、自分がエジプトでの地で奴隷であったこと、そして、あなたの神、主が力強い御手と伸べられた腕とをもって、あなたをそこから連れ出されたことを覚えていなければならない。それゆえに、あなたの神、主が力強い御手と伸べられた腕とをもって、あなたをそこから連れ出されたことを覚えていな

なければならない。それゆえに、あなたがたの神、主は、安息日を守るよう、あなたに命じられたのである」申命記5：12, 15。

旧約時代は、安息日は土曜。新約時代は、主が日曜日に復活され、日曜日が主の日に。

- ③ 主が来られる時が二千年前よりももっと近づいている事を自覚し、神が与えて下さった時、機会を生かして祈り、互いに愛し合う。

「万物の終わりが近づきました。ですから、祈り（神との交わり）のために、心を整え身を慎みなさい。

何よりもまず、互いに熱心に愛し合いなさい。愛は多くの罪をおおうからです」Ⅰペテロ4：7, 8。

神から与えられた時間、機会を憎み復讐する事に費やすのではなく、自分自身が、これまでいかに神に赦され続けているかを感謝し、他の人を愛し赦すことができますように。神が与えて下さる悔い改めるべき時、機会に神に立ち返ることが出来ますように。イザヤ30：15

- ④ 主が来られる時、自分が死を迎える時、人々が死を迎える時が、いつか来ることを覚え、祈りつつ神が与えられた機会、時を大切にす晴らしい主、主の御言葉を宣べ伝える。

「神の御前で、また、生きている人と死んだ人をさばかれるキリスト・イエスの御前で、その現れと

その御国を思って、私はおごそかに命じます。みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くても

（平和な時も迫害の時も）しっかりやりなさい」Ⅱテモテ4：1, 2

- ⑤ 神が導いておられる前進すべき時、機会には踏み出し前進する。主と共に。臆病な心に主からの聖なる勇気をいただいて。

「まだ眠っているのですか。見なさい。時が来ました。人の子は罪人たちの手に渡されるのです。

立ちなさい。さあ、行くのです」マタイ26：45, 46。

自分の思いではなく、神の時、主の喜ばれる事を祈りつつ見分けながら。

- ⑥ 神の導きで待つべき時、機会には忍耐し待つ。すべてを支配しておられる主を信頼して。はやる、あせる心を静め、主からの忍耐、冷静さをいただく。

「主の前に静まり、耐え忍んで主を待て」詩篇37：7。

「下に根を張り、上に実を結ぶ」イザヤ37：31。

掘り下げ、深められる大切な機会。下（主）に根を張る時。神の時が満ちるのを待つ時。

「あなたがたには、あすのことはわからない。…あなたがたはこう言うべきです。『主のみこころなら、私たちは生きていて、このことを、また、あのことをしよう』ヤコブ4：14, 15

賛美「1. 明日は、どんな日か私は知らない。晴れか嵐か曇りになるか。私は明日を心配しない。

イエスが私を守られるから。

2. 日々の歩みは日々明るく、肩の重荷はしだいに軽い、輝く太陽、涙かわかし、
仰ぐ空には、虹の架け橋。

3. 明日はどんな日か私は知らない。どんな道筋が先にあるかも、だけど、私は心配しない。

イエスがおられる、私のそばに！ ※明日を守られるイエスがおられる！